

企画にあたって



応用物理学会
講演会企画運営委員長
筒井 一生
(東京工業大学)

2019年第66回応用物理学会春季学術講演会は、東京工業大学大岡山キャンパスにて開催されます。東京工業大学での開催は、2016年春に初めて利用して以来、今大会で2度目になります。現東京工業大学学長の益一哉先生も、以前応用物理学会の講演会企画運営委員長をされていたりしました。東京工業大学は、応用物理学会の会員数が5番目に多く、500名以上の会員がいて、応用物理学会とゆかりのある大学です。

今大会では特別シンポジウムが7件、分科企画シンポジウムが22件、合計29件のシンポジウムが開催されます。それらのシンポジウムと14の大分類分科の各セッション、および境界領域を扱う合同セッション/コードシェアセッションにおいて、合計3829件の発表（口頭発表2622件、ポスター発表1207件）が行われます。

またポスター会場ともなっている屋内運動場では、合わせて約160社・団体の企業・団体の展示会が開催されます。恒例の応物キャリア相談会、産学協働の広場、JSAPフォト・イラストコンテスト、スタンプラリー等もありますので、奮ってご参加ください。

講演会のプログラムはiPhone/iPadやAndroidのアプリでも閲覧いただけます。これを使えば、講演者や講演タイトル、講演時間なども簡単に検索でき、さらに予稿PDFも閲覧できますので、是非ご活用ください。

参加者にとって活力を生み出す有意義な講演会になるよう願っております。最後に、本講演会開催に向けてご尽力いただいた現地実行委員の先生方に深く感謝いたします。